

信州大学医学部附属病院 第二内科に  
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ  
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2021年10月12日

**「原発性胆汁性胆管炎における Fibroscan®の予後予測能の検証:多施設コホート研究」に  
関する臨床研究を実施しています。**

信州大学医学部医倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。  
この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研  
究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	5313
研究課題名	原発性胆汁性胆管炎における Fibroscan®の予後予測能の検証:多施設コホート研究
所属(診療科等)	内科学第二教室
研究責任者(職名)	梅村 武司(教授)
研究実施期間	倫理委員会承認日~2026年9月30日
研究の意義、目的	Fibroscan®による肝硬度測定値と原発性胆汁性胆管炎の予後との関連を明らかにすることを目的とした研究で、新しい予後予測の発見に貢献すると考えられます。
対象となる方	2003年1月1日~2021年6月30日の期間に共同研究機関で原発性胆汁性胆管炎について医療を受けられた方
利用する診療記録	診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果など
他機関から試料・情報の提供を受ける方法	電子的配信 により提供を受けます
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、Fibroscan®による肝硬度測定値と各種診療記録との関係性の有無について検討します。
共同研究機関名 (研究責任者氏名、窓口担当医)	愛媛大学(阿部 雅則), 岡山大学(高木 章乃夫), 福島県立医科大学(大平弘正、高橋 敦史), 長崎医療センター(小森 敦正、釘山 有希), 福岡大学(竹山 康章), 長岡中央総合病院(高村 昌昭), 奈良県立医科大学(吉治仁志、浪崎正), 帝京大学(田中 篤)
研究代表者	主任施設の名称:信州大学 研究責任者:梅村武司
問い合わせ先	氏名(所属・職名):山下裕騎(信州大学内科学第二教室・大学院生) 電話:0263-37-2634

既存の診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

患者様を直接特定できる個人情報を削除した上で提供された試料・情報等を利用します。

研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。